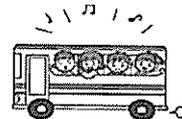


秋の旅行会 (10月2日3日) 渡良瀬・足尾・日光を巡る

千代田
区職労

退職者会ニュース

第2016-7号
16年10月15日
退職者会
編集委員会
03-3221-0052



10月2日、3日、足尾、日光方面への三部学習旅行会が行われました。再任(雇)用部会、退職者会から19名、特別参加のフルートとピアノの演奏者2名の合計21名が参加しました。

心配されたお天気も青空を垣間見るほどの晴れとなり、さすが高齢者パワーと納得の出発となりました。

今回は学習旅行の名にふさわしく出発後すぐにバスの中で、初日の目的地足尾銅山と銅山開発による鉱毒事件、政府の弾圧に抗して地元住民と農業、自然を守るために闘った田中正造について、足尾出身の桜井書記より詳

優しくあふれる

富弘美術館

めぐらしい駅の中の温泉・わたらせ渓谷鉄道水沼駅温泉センターで昼食をとったあと、富弘美術館を見学しました。事故で手足の自由を失った星野富弘さんが口に絵筆をくわえて草花を描いた優しさあふれる絵と詩に温かさとも勇気ももらいました。その後銅山観光へと

向かいトロッコ列車で坑道へ。坑道内は江戸時代から昭和までの採掘現場が再現されていて、冷気と湿気の厳しい環境の中で働いていた当時の人々に思いを馳せました。

トロッコ列車に乗り 生演奏に酔う

足尾駅から人気のトロッコ列車に乗車。窓ガラスのない列車は想像以上に風を強く受け寒いほどでしたが、木々の緑と美しい渡良瀬渓谷の清流の景色を楽しみました。

宿泊先「サンレイク草木」に到着後、ロビーにて、三部合同旅行初めての企画、ピアノとフルートのミニコンサートが催されました。生演奏に参加者一同、心癒された感動のひと時でした。

日光の世界遺産 全一社一寺を巡る

二日目は日光の世界遺産・東照宮、輪王寺、二荒山神社の2社1寺を見学。東照宮ではガイドさんの説明を受けながら国宝の建築物、彫刻の数々を見学しました。現在平成の大修理中で陽明門は覆われていて三猿、眠り猫はレプリカの見学となりましたが豪華絢爛の建物、芸術品の数々に感銘を受けました。家光の霊廟・大猷院では長い階段をもろともせず、ここでも高齢者パワーを発揮しました。

旅行会に参加された皆さん



帰路の車中では演奏者の方から音楽を聴いたり歌ったりすることが脳の働きや心、体の健康にとっても良い効果があるとお話もあり、あらためてカラオケ交流の良さを認識しました。

二日間、学習と観光で大いに学び楽しみ、交流を深めた三部合同旅行となりました。



わたらせ渓谷鉄道のトロッコ列車で涼風と景色を楽しむ

現職の時は現評議長として、退職後は退職者会の会長として、いつも精いっぱい頑張っておられた青柳先輩。都退協幹事も兼任され、苦勞も多かったと思います。千代田区は筆頭区なので恥じない活動をしたいと口癖のように言っておられましたね。そんな生真面目な青柳先輩を心から尊敬しておりました。

青柳四郎さんを偲んで

退職者会会長 水上末二

月前外科的なことで病院通いをしていると、元気な声で話していました。それが突然の訃報に言葉を失いました。残念でなりません。

私たちが後輩は先輩の後を引き継いで精一杯がんばります。どうか安心してお眠りください。長い間お疲れさまでした。有り難うございました。さようなら。

合掌

訃報

千代田区職労退職者会前会長の青柳四郎さんは、九月一二日、すい臓癌のため亡くなられました。葬儀は九月二〇日に町屋斎場で行われ、退職者会から通夜、告別式に役員一〇名が参列しご冥福を祈りました。

秋の旅行会 (三部会合同旅行) に参加して

小路 啓子 (再任用)

組合書記の桜井さんの出身地と聞き、興味津々初めて参加しました。

心配していた台風の影響もなく、参加された皆様の日頃の行いが良いのか？初日は天候にも恵まれ旅行日和でした。

車内で桜井さんの生い立ちと「足尾銅山鉍毒事件と田中正造」の詳しい資料及び解り易い説明に感心し、NPO法人足尾鉍毒事件田中正造記念館では、全てボランティアの方々で運営され、その熱意に圧倒されました。

星野富弘美術館では、素晴らしい絵と詩に感動……。時間が無くてとても残念でしたが、昨年12月から始めた「書の会」で、書を練習する際も「心を込めて書くこと」の大切さを学

びました。また訪れたい場所の一つです。

「足尾銅山観光」では劣悪な環境で働く人々に感無量。初めて乗ったトロッコ電車は窓が無く寒かったけどレトロ気分を満喫できました。

国民宿舎「サンレイク草木」到着後、ピアノとフルートのロビー演奏会に酔いしれ、お楽しみの宴会では、お酒と美味しいお料理に舌鼓。身も心も癒されました。

2日目の日光世界遺産観光では、服部さんの「日光東照宮の見どころ」の説明と詳しいカラー資料が大変参考になり、ガイドさん顔負けでした。

今回の旅行では、全体的に家庭的な雰囲気心が和みました。また、先輩方のパワーにびっくり！エネルギーをいっぱい頂きました。

完全退職後も旅行会等に参加し、健康長寿を実現したいと思っています。

旅行を企画してくださった多くの方々に感謝です。ありがとうございました。

三部合同学習旅行会に参加した会員から寄せられた感想を紹介します。小路さんは初参加、吉本さんは完全リタイア後最初の参加ということでした。



2016年・三部学習旅行会 参加者の感想

見どころ盛り沢山の旅行会

吉本 茂喜

今回の学習旅行会は、田中正造記念館をはじめに、みどり市の星野富弘美術館、足尾銅山見学、渡良瀬溪谷鉄道のトロッコ列車、夕食前のミニコンサート、二日目は日光東照宮見学と盛りいっぱいの企画でした。

田中正造記念館では、足尾銅山の鉍毒公害の歴史を説明してもらい、公害の歴史、特に正造の議会活動や川俣事件、鉍毒隠しのために谷中村住民が強制移住させられたこと等説明を受けました。経済優先で、国民を犠牲にした権力者の横暴な政策をここでも思い知らされました。この後で行った足尾銅山では、トロッコで昔の坑道に入り、劣悪な作業現場の状況下で働く労働の再現等を見学しました。富国強兵策は、このような人たちの犠牲の上に成り立っていたのです。

星野富弘美術館は、中学校の教諭だった富弘が、事故で手足の自由を失ったにもかかわらず、口で筆を加えて絵と詩を書いた作品を展示している美術館です。作品である絵の美しさ、字のすばらしさはもちろん、事故後、失望の淵から立ち直って、生き生きとした作

品を書き続けるようになったその人生論に感動しました。時間があつたら、また行ってみたい美術館です。



渡良瀬溪谷は絶景でした。ただ、長いトンネルの中は寒かったですね。それに各駅の名前、間藤(まとう) 沢入(そうり) 神戸(ごうど) とっても難しい読み方です。

ホテル到着後の食事前のミニコンサートは、旅の疲れを癒し、快い音色でした。クラシックだけでなく、聞きなれた懐かしい曲が多かったこと、曲の説明が入ったことも興味を引き付けられました。

二日目の日光、私は度々行き、アルバイトもしたことがある所なのですが、東照宮に行ったのは初めてでした。しかも、浅はかにも、家康を祀った東照宮だけしか知らず、輪王寺や二荒山神社、それに家光の廟所大猷院など初めて知ることが出来ました。ただ、十年の改修中で、有名な三猿や陽明門の実物を見れるなかったのは心残りでした。それはさて置き、各建物や杉の大木、置物の大きさ豪勢さには驚きました。強大な権力が成しえた文化財です。城をはじめ文化財を見るたびに思うのですが、多くの労力が費やされ、優れた技術が生まれるとともに、多くの人が駆り出され、大変な生活を強いられたことでしょうか。隠れた負の遺産とでもいうのでしょうか。歴史・文化の遺産には制作された時代の、いろんなものが含まれているという意味で、反省を込めて後世に大切に引き継いでいく必要があるものと思いました。

三部合同旅行会

ミニアルバム

2016年10月2日・3日

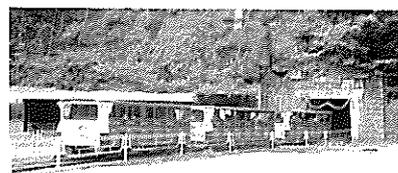


田中正造の業績について説明を聞く

○真の文明ハ山を荒さず、川を荒さず、村を破らず、人を殺さざるべし。
 ○古來の文明を野蠻二回らす。今文明ハ虚偽虚飾なり、私慾なり、露骨の強盜なり。
 (1912年6月17日)



田中正造記念館前で記念撮影



足尾銅山

江戸幕府直轄の銅山として始まり、昭和48年の閉山まで約400年間続いた。明治期には亜硫酸も産出し、精練の副産物として硫酸も生産していた。

20世紀初頭には日本の銅産出量の40%ほどの生産を上げる大銅山に成長。しかしこの鉱山開発と製錬事業の裏では、樹木が坑木・燃料のために伐採され、鉱石を製錬する工場から排出される煙が大気汚染を引き起こした。渡良瀬川は洪水を頻発し、製錬による廃棄物を流し、水質・土壌汚染をもたらし、広範囲な環境汚染いわゆる足尾銅毒事件を引き起こした。



わたらせ 溪谷鉄道



ガイドの説明を聞きながら東照宮境内を歩く

日光の世界遺産

1999年に世界遺産に登録された「日光の社寺」は、日光山内にある、東照宮、輪王寺(りんのうじ)、二荒山神社(ふたらさんじんじゃ)の103棟(国宝9棟、重要文化財94棟)の「建造物群」と、これらを取り巻く「遺跡(文化的景観)」。

富弘美術館

事故で首から下の体の自由を失い、口に筆をくわえて文字や絵を描く詩人作家・星野富弘氏の水彩画が展示されている。絵も素敵ですが、そこに添えられている星野氏の言葉一つ一つは、体の中に染みわたるような感動を感じる。



「サンレイク草木」のロビーでの演奏会

安倍首相、年金抑制を強行の構え

「マクロ経済スライド」改悪法案の成立を狙う

安倍首相は一〇月十二日の衆院予算委員会でも、物価が下落しても「マクロ経済スライド」を發動できる年金改悪法案を、開催中の今国会で成立させる考えを表明しました。「マクロ経済スライド」はこれまで物価上昇時のみ發動するという仕組み

でしたが、今年三月に改悪法案を上程し、継続審議となっていたものです。安倍首相は、持続可能な年金制度にして行くためなどといっていますが、それならば年金積立金を大量に株式に投入し、莫大な損失を出すような運用を即刻改めるべきです。

都退協囲碁大会

二〇一六年第一七回都退協囲碁大会に、千代田退職者会から井尻さんと高橋弘さんが参加しました。参加者はA、B、Cの三つのクラスにそれぞれ一六人がつづ組み分けされ、井尻さんはBクラス、高橋さんはCクラスで対戦しました。

井尻さん、高橋さん 大健闘

井尻さんは今年は一勝二敗、井尻さんは三勝一敗で準優勝、お二人とも大健闘でした。対局後は表彰式と懇親会が行われ、お互いの健闘を称えあい和気あいあいのうちに終わりました。井尻、高橋の両氏は、楽しい大会だった、来年は優勝を目指す、と意気軒昂でした。

退職者会は、会員の皆さんが楽しみをもって澆刺と過ごしていただけることを心から願っており、囲碁をやっておられる方はぜひこの大会にも参加していただきたい、と思っております。

午後五時半まで熱戦を繰り広げ、昨年優勝の高



エンディングノートのすすめ—もしもの時に困らないために

縁起の良い事ではないのであまり考えたくはないのですが、もし、突然あなたの配偶者が亡くなったとしたらどうしますか？



夫婦でも意外にお互いの事を知らないことが多いのではないのでしょうか。たとえば預貯金や不動産・株式など資産の詳細。連絡すべき友人・知人の住所。所属しているクラブやサークルの連絡先。葬儀・埋葬の故人の希望など。

突然の悲しみや混乱の中で、これらの事を調べるのは大変な作業です。このことは逆に自分が先立った場合でも言えます。残された配偶者や家族の困惑は想像に難くありません。

近頃は、このようなことのないよう万一の時に備えて、家族に伝えておきたい事柄を元気なうちに書き留めておく「エンディングノート」が勧められています。

書店に行ってみるといろいろなエンディングノートが並んでいます。どのノートも自分史から財産や保険・年金、負債、相続、パソコンのデータ処理に至るまでかなり事細かに書くことが出来るようになっていきます。あらゆる事柄が網羅されすぎてしまって、却って躊躇してしまうのではないかと思います。

余り大袈裟なものは、と言う人には必ずしも市販のエンディングノートである必要はありません。大学ノートや自由帳など、お好みのノートに自分なりのエンディングノートを作ってみたらどうでしょう。

自分の生い立ちや思想、遺しておきたい言葉など自由に書いてみるのもいいですが、とにかく肝心なことだけ書き記しておけばいい、という人は次に挙げる事項を押さえておけばいいのではないかと思います。

- ② 回復する見込みがなくなった場合に、延命措置をするかしないか。
- ③ たとえ余命が短くならないとしても苦痛を取り除くための緩和ケアをするかしないか。
- ④ 人生の最後を自宅で看取ってほしいか、病院でいいか。

不幸にも旅立った時のために

- ① すぐに知らせしてほしい人・団体の電話番号・住所等。
- ② 葬儀に希望があればその内容(仏式・密葬・家族葬・お別れ会等)
- ③ 埋葬に希望があればその内容(散骨・樹木葬墓地等)
- ④ 不動産関係、生命保険関係の書類、預貯金の通帳やキャッシュカード・クレジットカードの保管場所
- ⑤ キャッシュカードやクレジットカードの暗証番号

以上に挙げたものはどなたにも共通すると思います。さらに個別に書いておくべきことがあれば、いくらかでも追加しておけばいいでしょう。

ノートの管理にはくれぐれもご注意を！

ただ、エンディングノートは個人情報そのものですので管理にはくれぐれもご注意ください。もちろん遺された家族にも気づかれぬままでは意味をなさないものですので、家族と相談しながら作製、保管することをお勧めします。

エンディングノートに関してはインターネットにたくさんサイトがあり、ノートそのものを無料でダウンロードできるものもあります。自分でパソコンをやっていないという人でも、家族のどなたかが出来るなら是非参照してみてください。

病が重くなった時のために

- ① 口から物が食べられなくなった時に、人工的栄養補給(胃ろう・食道ろう)をするかしないか。

あなたの記憶に残る「祭」を紹介するページ 第5回



大鳥神社 (豊島区) の夏祭り

黒滝 和子

この辺に住む私たちは大鳥神社の氏子です。お宮参りや七五三さんなど子供の成長を願う行事はここに行きます。七五三では神主さんが祝詞を挙げてお祓いをし、白い盃にお神酒をちょっぴり注いでくれます。飲むと体が熱くなり、「神様が宿った」といわれます。儀式が終わると袋に入った千歳飴をいただき、お宮さんにお参りし写真を撮って帰ります。

女の子はこの日のために髪を伸ばし美容院で着付け髪結い化粧をし、なれない着物に足袋草履、歩くと鼻緒が痛みます。男の子は前日床屋で頭をきれいにし、長い袖の羽織袴、腰には大小の刀を差し侍の子になります。刀は鞘を抜くと銀メッキの刃が出て腕白な子はチャンバラを始めます。私が小さかった頃の七五三はこんなふうでしたが、時代が進むと男の子はスーツや人気アニメのコスプレ、着物の女の子も歩くときは運動靴で写真を撮るときだけ草履やポックリに履き替えます。

最近では分離型で、和服のおめかしした姿は前日までに写真館で済ませ、当日は洋服で有名神社にお参りし、夜は父方母方の祖父母を交えてホテルで会食というパターンが多くなりました。子供の数が減り両家と一緒に行動できるようになり、生活水準も向上してお祝いのやり方も変わったのでしょう。

昔は神主さんに生まれた子の名前を付けてもらったり進学や就職を占ってもらったり神前結婚をする人もいて、神社は生活に密着していました。今神が生活の中にあるのは、何ととっても「祭り」が一番でしょう。

大鳥神社は秋祭りです。ドーンドーンカッカカッカ、ドンドンカッカと法被を着た男の子が力強く太鼓を打つと山車の行列は町内を練り歩きます。そばで子供神輿もワッショイワッショイと声を張り上げ、大人の神輿は暴れ神輿でジグザグに動きます。本祭りには特別大きな千貫神輿も出ます。

祭りの時の小学校は出席をとって1時間目だけ受けて早退できます。「あの子の町は氷川神社、次は僕の大鳥神社」、子供たちは近隣の祭りを楽しみにしたものです。

祭り前に町内の役員が寄付を集めに来ます。「お宅はお子さん二人だから三千元以上でお願いします。これは御輿を担ぐときや山車を引くときの目印です」と口上を言い、黄色い鉢巻を置いていきます。男の子は豆絞りの鉢巻の上に締め、女の子は浴衣の前で結びます。

今の祭りは授業に支障のないよう土日を設定し、寄付も商店が中心です。子供の数も少ないので御輿も山車も、顔見知りのおじさんが「友達誘って御輿担いでくれー」と人集めをしています。

豊島区は去年新庁舎が落成し、新しいところに移転しました。その下準備として二度に分けて都市整備が行われ、町会も商店街も町並みも一部消えました。それでも残った私たちは子供や孫に小遣いをやり、ヨーヨーつりや金魚すくい、ソースせんべい輪投げなどに昔の自分を重ねて見えています。

11月は酉の市、お正月は「雑司ヶ谷七福神めぐり」。大鳥神社は恵比須様、鬼子母神には大黒様が祭られています。七ヶ所めぐって色紙に御朱印をいただくといいことがあり、粗品もです。2月初午、4月8日お釈迦様、6月30日茅の輪くぐり(夏越しの祓)、7月夏市(植木市と縁日)、8月納涼盆踊り、年中行事は沢山あります。行事の日にはたくさんの方が集まります。商店街には毎月古本古着古雑貨を売るみちくさ市が立ちます。町歩きの人也都電から降りてきます。

大鳥神社は都電沿いに建っています。昔神社のそばの道は弦巻川(今暗渠)周りは田や畑でお百姓さんが住む村でした。したがって秋祭りは豊作を祝う祭りでした。

雑司が谷は、毎月なにかしら行事をやっています。お好きなら是非、出かけてみてはいかがでしょうか。



恵比須様



絵手紙、土屋喜代子さん

協力いただいた
署名の到達点について

戦争法の廃止を求める
二千万署名

「戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会」は、今月六日に二百三十万筆の署名を国会で野党議員に手渡し、合計千五百八十万筆となりました。

千五百万を越す署名の到達は、戦争法に反対する声の大きさを如実に反映しています。署名は引き続き取り組まれています。

わが退職者会はこれまでに二三五署名を集約しています。

憲法9条を保持する

日本国民にノーベル賞を

今年のノーベル平和賞にノミネートされましたが、受賞は逃がしました。

活動母体の市民団体は、引き続き継続して9条を世界に広めたい、としています。